

ゲートオープンモデル事業に係る中間評価（概要）

本モデル事業について、利用実績及びアンケートの調査結果を踏まえ中間評価を行った。なお、荷主等がゲートオープン時間拡大にあわせて生産・出荷・物流体制を整えるまでには一定の期間が必要であることから、事業開始後、半年以上経過した5港（横浜港、名古屋港、四日市港、神戸港、大阪港）についてのみ評価を行った。

1. 背景

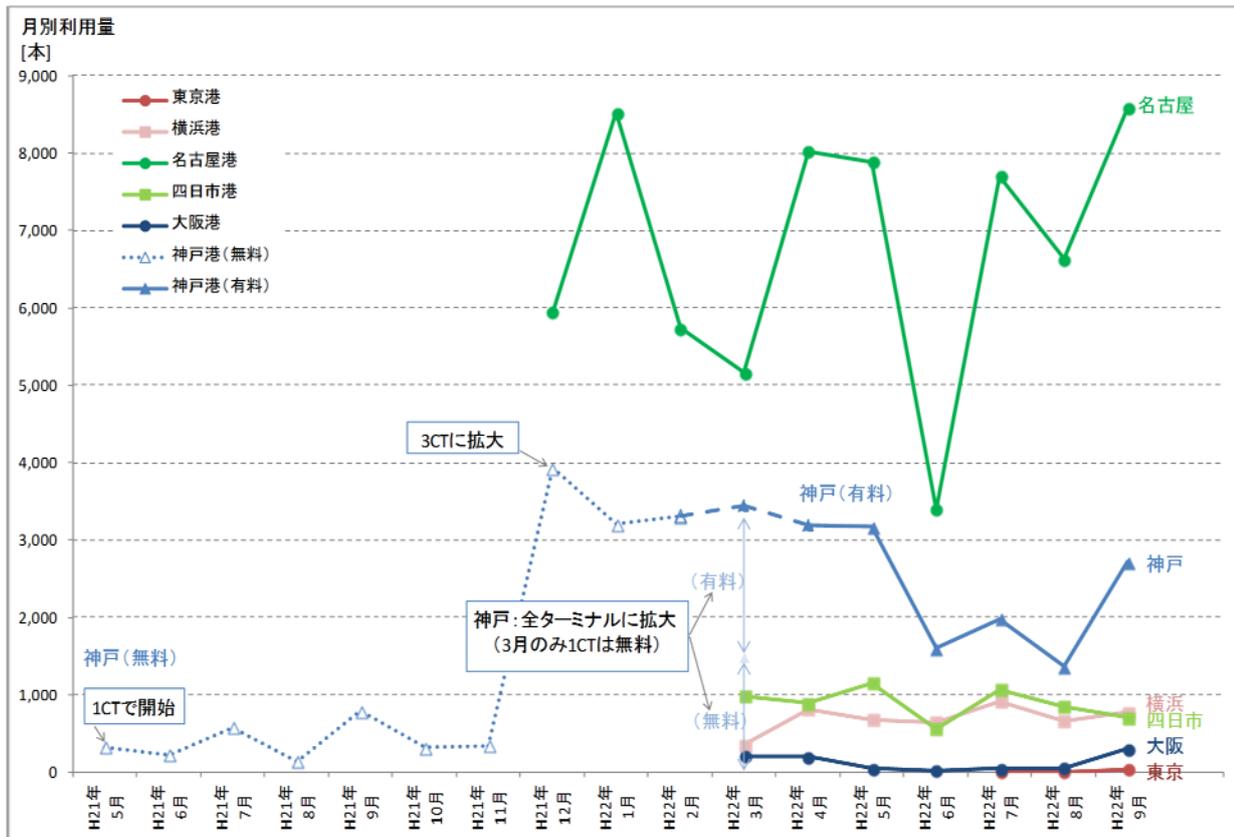
世界主要港のコンテナターミナルが24時間ゲートオープンしている中、我が国のゲートオープン時間は原則8時30分から16時30分までであり、荷主等が生産・出荷・物流体制を変革しサプライチェーンを円滑化・効率化・高度化する上でのボトルネックとなっている。

2. ゲートオープンモデル事業の内容

現在、東京港、横浜港、名古屋港、四日市港、神戸港及び大阪港の6港26ターミナルにおいて、ゲートをこれまで16時30分で閉めていたものを現在の経済状況下で最もニーズの高い20時まで時間拡大（予約制）するモデル事業を実施している。

なお、本事業はターミナルが事業後（24年4月以降）もゲートオープンの時間拡大を継続できるように受益者が時間外利用料金としてコストの一部を負担する方式をとっている（時間外利用料金：500～4,000円/本）。

3. モデル事業（拡大時間）の利用実績等



上段：拡大時間利用実績（本）、下段：拡大時間利用割合

		H21年 12月	H22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
横浜					350	813	680	648	919	664	776
					0.4%	0.6%	0.6%	0.5%	0.7%	0.5%	0.6%
名古屋		5,960	8,505	5,733	5,391	8,021	7,887	3,398	7,701	6,629	8,584
		6.2%	9.4%	6.4%	5.4%	8.1%	8.5%	3.3%	7.4%	6.5%	8.3%
四日市					989	893	1,152	560	1,068	849	708
					5.4%	4.1%	6.0%	2.6%	4.7%	4.1%	3.4%
神戸	無料	3,930	3,207	3,307	1,482						
		6.6%	5.9%	6.0%	6.0%						
	有料				1,964	3,193	3,175	1,601	1,978	1,361	2,714
					1.6%	2.1%	2.4%	1.1%	1.3%	0.9%	1.9%
大阪					208	201	49	22	46	54	304
					1.0%	0.8%	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%	1.2%
合計		9,890	11,712	9,040	10,384	13,121	12,943	6,229	11,712	9,557	13,086
		6.3%	8.1%	6.2%	2.7%	3.1%	3.3%	1.4%	2.7%	2.3%	3.1%

（注1）港毎に最高値を緑色に、最低値を灰色に着色。

（注2）拡大時間利用割合：終日（8:30～20:00）の全取扱数に占める拡大時間（16:30～20:00）の利用実績の割合。

4. 評価

少子高齢化が進む少資源国の我が国にとって、我が国産業が生産やサービス提供に最適な体制を構築することが、産業の国際競争力を強化していく上で今後ますます重要となってくる。そのためには世界各地との間に低コストでスピーディかつ確実な輸送ネットワークを構築することが必要である。それによって、日本と世界とのヒト・モノ・カネの流れを円滑化するとともにアジアの成長を取り込み、我が国経済の活性化につなげることが可能となる。

一方、国際的な潮流となっているAEO制度とリンクさせながらゲートオープン時間拡大を活用していくこと、具体的には、特定輸出者であれば、これまでより遅い時間に自社の倉庫等で輸出申告・許可を受けても、ゲートオープン時間拡大によりターミナル搬入が当日中に可能となり、リードタイム短縮及びコスト削減につなげることは、サプライチェーンの効率化・円滑化・高度化に直結し、我が国の荷主や物流業の競争力を強化させる新時代のビジネスモデルになる可能性がある。そのような芽を摘むことがないよう、今回のアンケート調査により明らかとなったメリット・デメリットや意見等を参考に、サービス内容を改善しながら本モデル事業を今後とも継続し、事業終了後においてもゲートオープンの時間拡大がなされる環境を整備していくことが重要である。

例え受益者負担であったとしても、国際潮流の中でゲートオープン時間拡大のチャンスを活かせる先見の明がある企業のために門戸を開き続けることは、我が国が活力を取り戻すために必須であると考えます。（以上）